

# 最近の経済動向

## 令和2年2月号

(北海道の景気動向～令和元年12月の経済指標を中心として)

### 持ち直しの動きが鈍化している

#### ■生産動向

P1 生産活動(鉱工業生産指数)

弱い動きが続いている

#### ■需要動向(消費・投資)

P2 個人消費(百貨店・スーパー・コンビニエンスストア・専門量販店販売額、新車登録台数)

足踏み状態となっている

P5 住宅建設(新設住宅着工戸数)

減少している

P6 公共工事(公共工事請負金額)

増加している

P7 観光(来道者数、来道外国人数)

改善の動きに弱さがみられる

P9 輸出入(輸出額、輸入額)

輸出額、輸入額とも前年を下回った

#### ■企業倒産

P10 企業倒産(倒産件数、負債総額)

倒産件数、負債総額とも増加した

#### ■雇用動向

P12 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、月間有効求人倍率、完全失業率)

改善が進む中、人手不足感がみられる

#### ■物価動向

P14 物価(消費者物価指数)

消費者物価指数は前年を上回った

#### ■企業の業況感

P15 企業経営者意識調査

前期から下降している

P16 企業のみなさまから伺いました

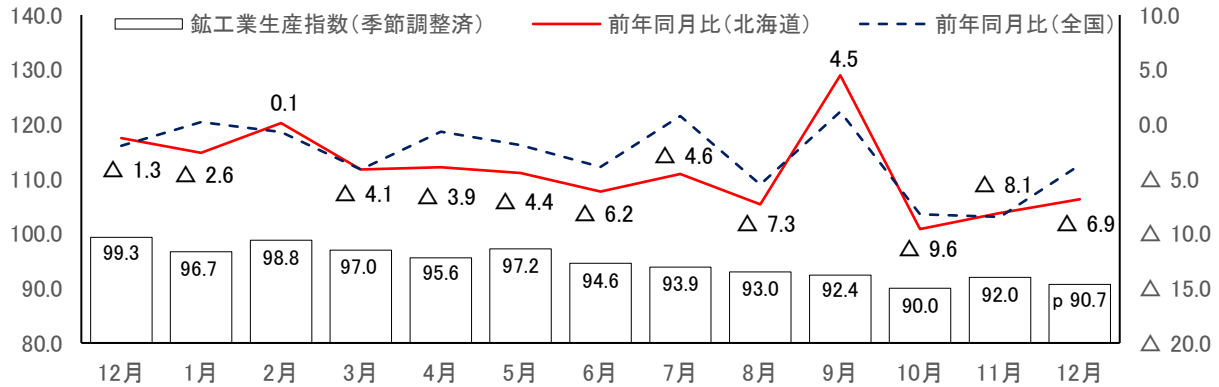
# 生産活動～弱い動きが続いている

## 鉱工業生産指数（12月）

鉱工業生産指数（季節調整済）は、90.7で前月比△1.4%（2か月ぶりの低下）であり、原指数による前年同月比は、△6.9%（3か月連続の低下）となった。業種別にみると、金属製品工業等10業種が前月比低下、一般機械工業等5業種が前月比上昇となった

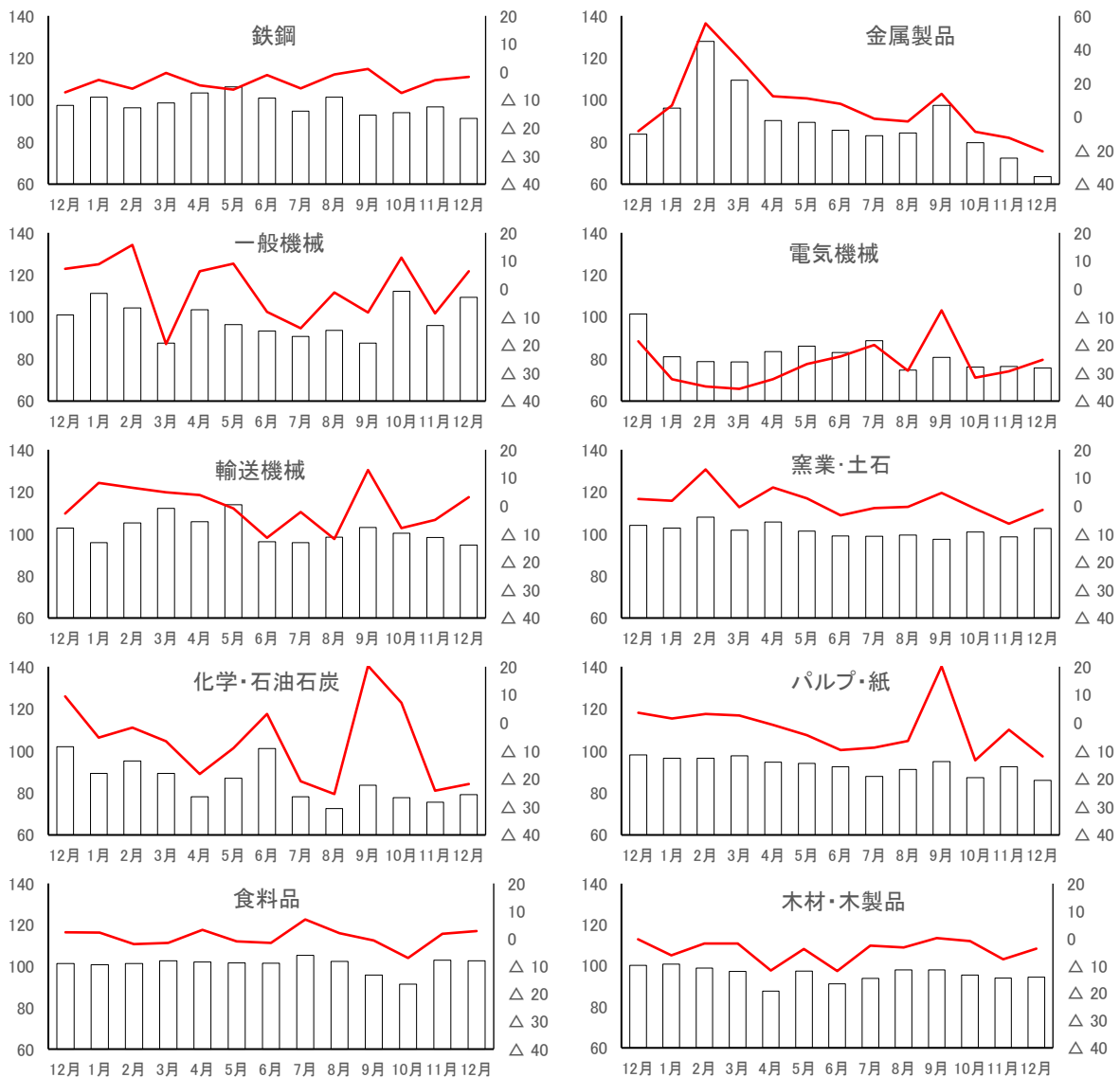
（季節調整済指数：平成27年＝100）

（原指数前年同月比：%）



\*「p」は速報値

## ■主な業種の季節調整済指数(右軸:原指数前年同月比%)

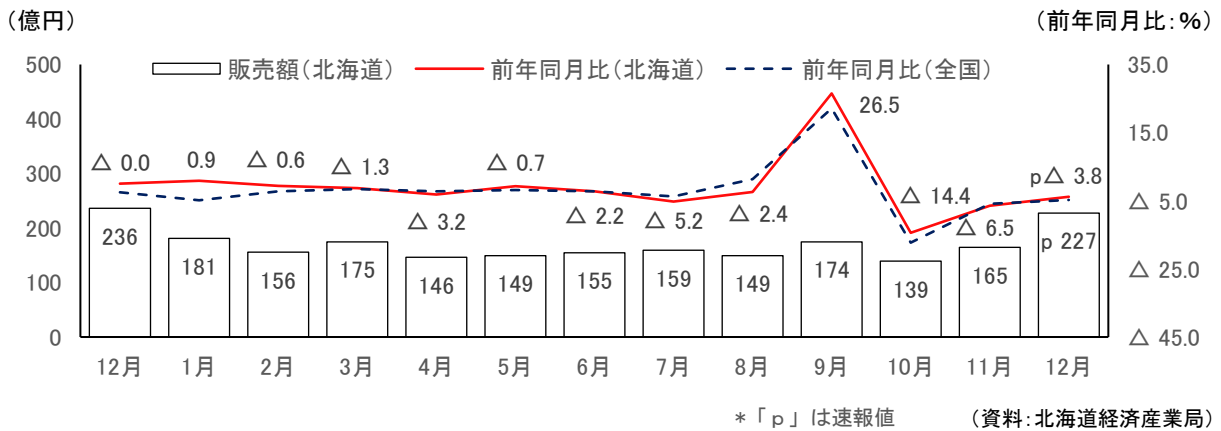


（資料：北海道経済産業局）

## ■個人消費～足踏み状態となっている

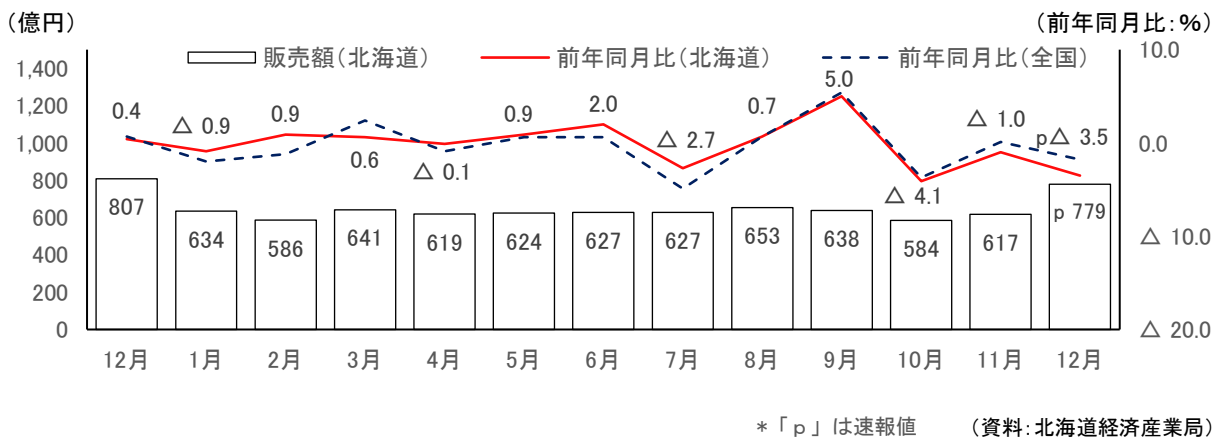
### 百貨店販売額（12月）

百貨店販売額は、227億円で前年同月比3.8%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



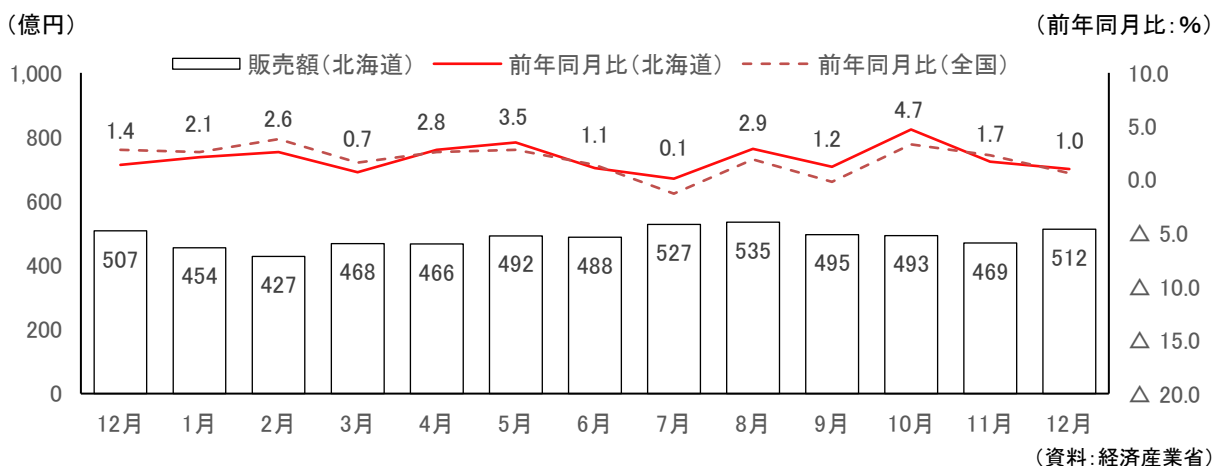
### スーパー販売額（12月）

スーパー販売額は、779億円で前年同月比3.5%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



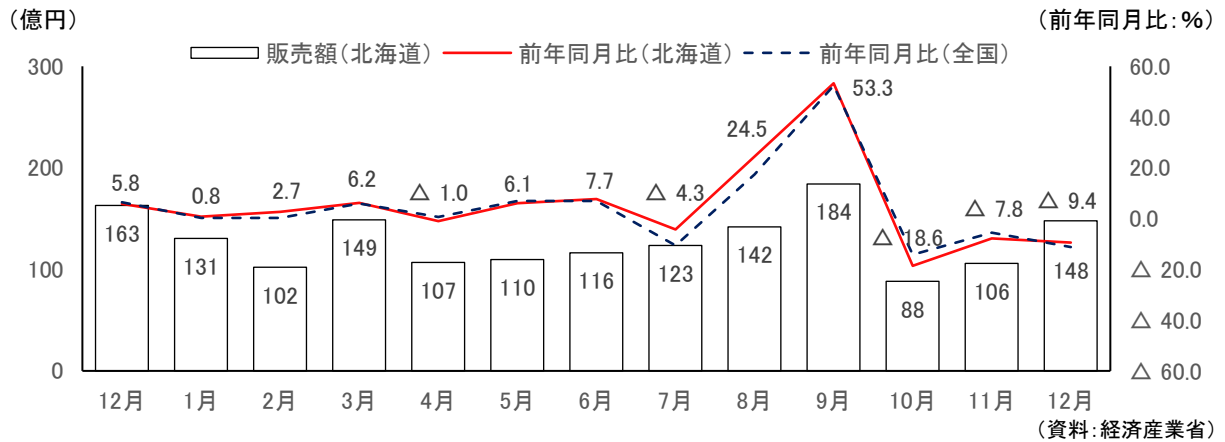
### コンビニエンスストア販売額（12月）

コンビニエンスストア販売額は、512億円で前年同月比1.0%の増加となり、14か月連続で前年を上回った。



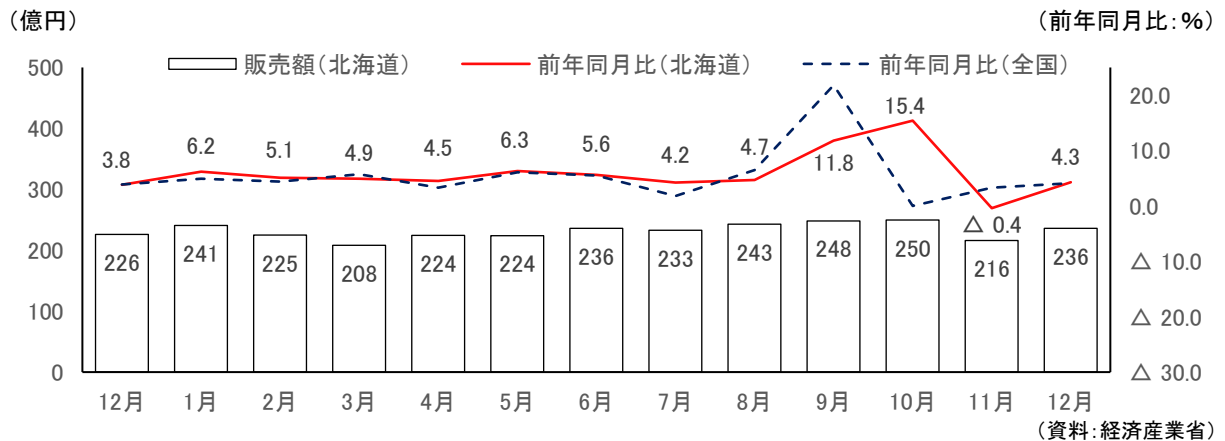
## 家電大型専門店販売額（12月）

家電大型専門店販売額は、148億円で前年同月比9.4%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



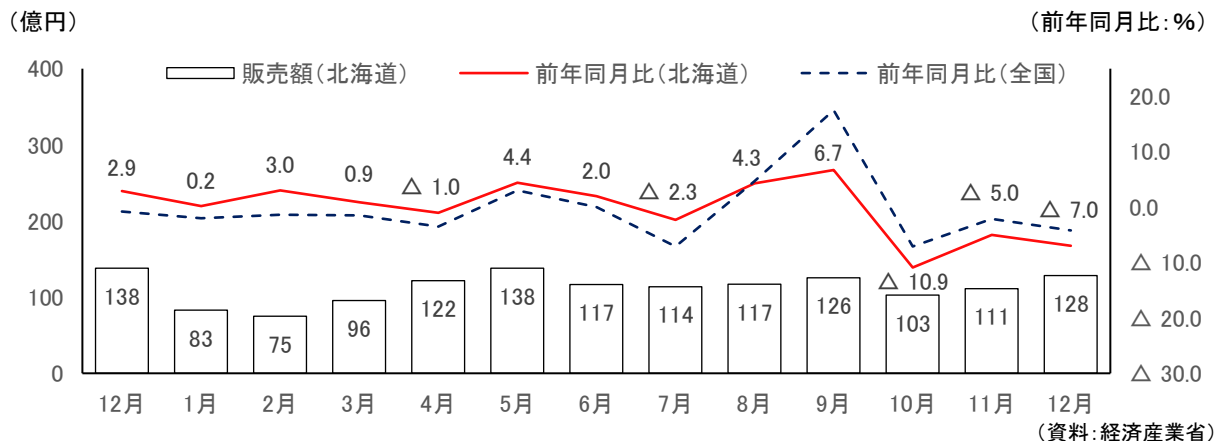
## ドラッグストア販売額（12月）

ドラッグストア販売額は、236億円で前年同月比4.3%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



## ホームセンター販売額（12月）

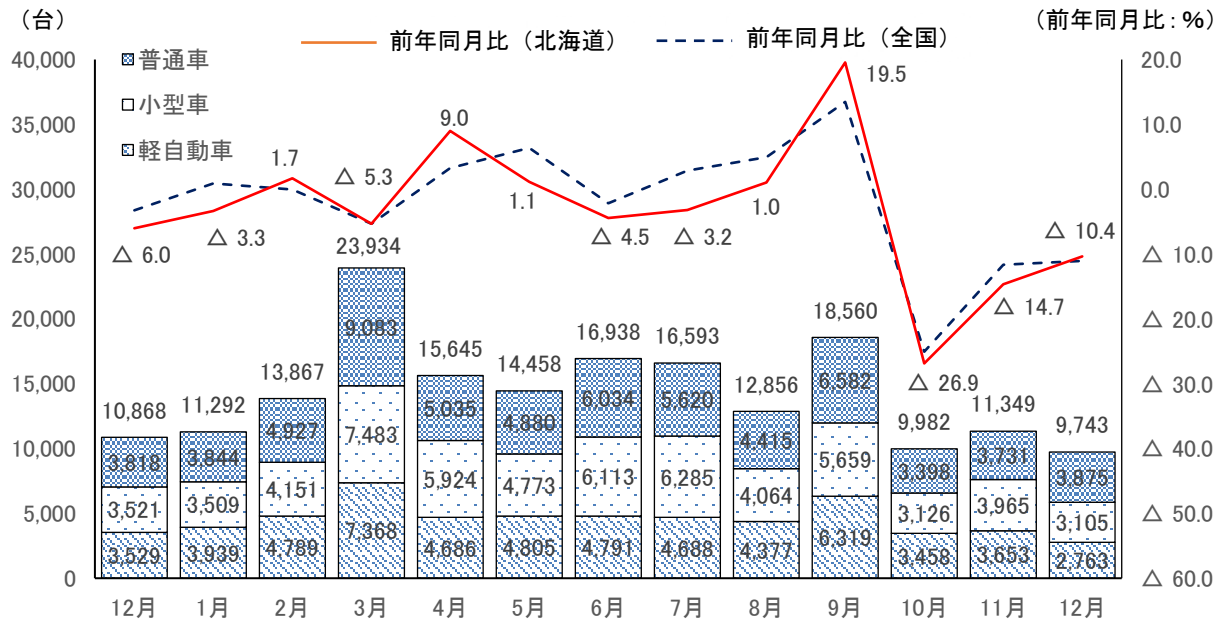
ホームセンター販売額は、128億円で前年同月比7.0%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



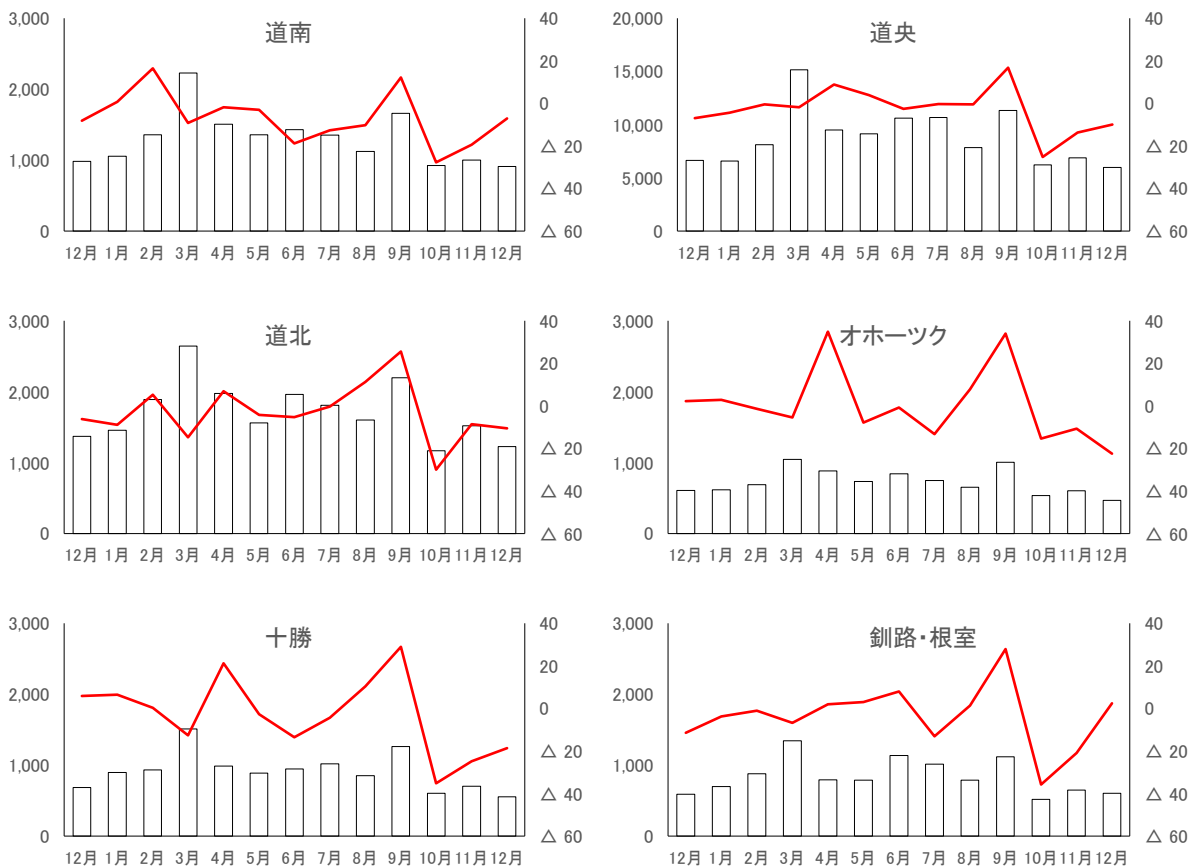
## 新車登録台数（12月）

新車登録台数は、9,743台で前年同月比10.4%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。

車種別にみると、普通車は、3,875台で同1.5%の増加、小型車は、3,105台で同11.8%の減少、軽自動車は、2,763台で同21.7%の減少となった。



### ■各圏域の新車登録台数（右軸：前年同月比%）



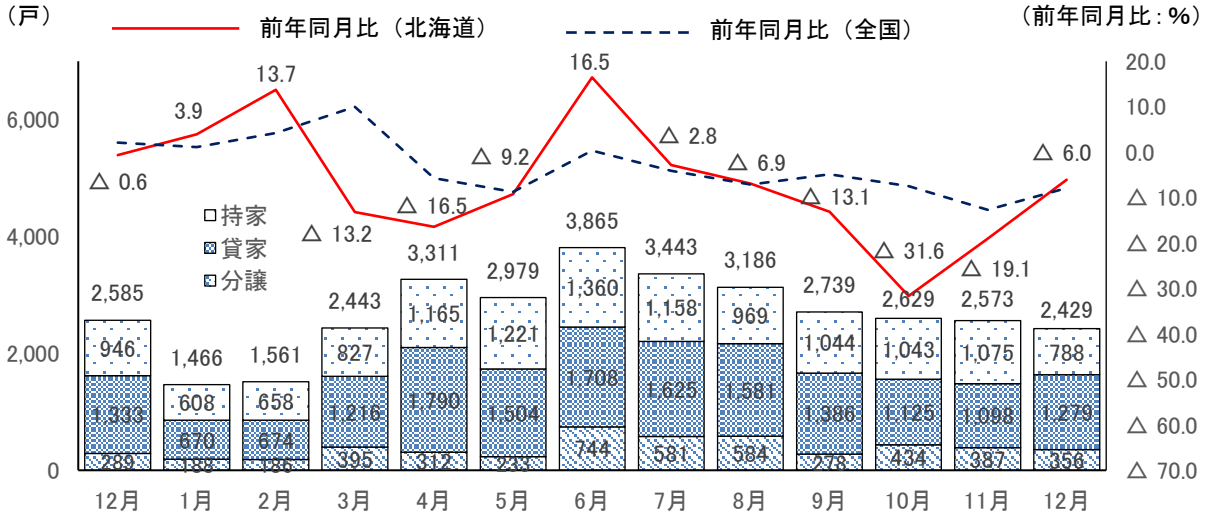
（資料：（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会）



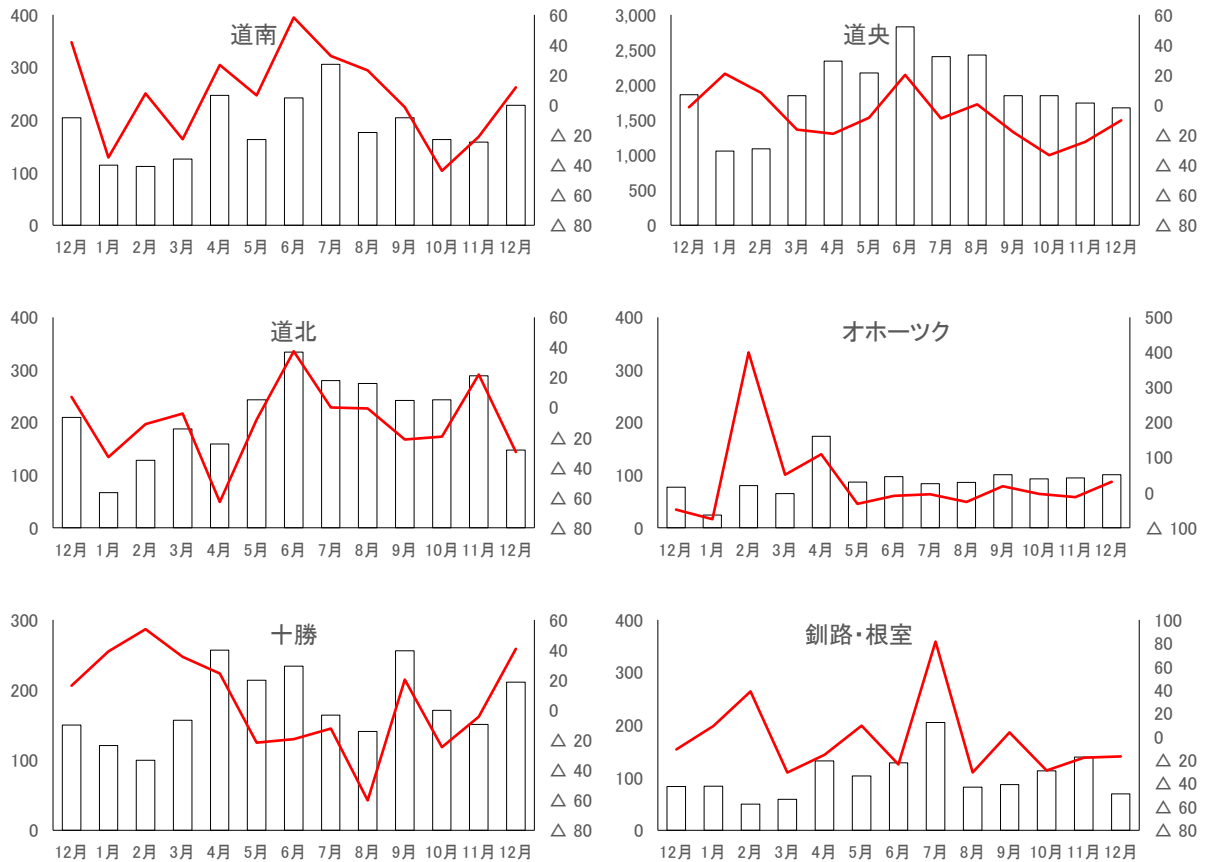
# ■住宅建設～減少している

## 新設住宅着工戸数（12月）

住宅着工戸数は、2,429戸で前年同月比6.0%の減少となり、6か月連続で前年を下回った。  
 利用関係別にみると、持家は、788戸で同16.7%の減少、貸家は、1,279戸で同4.1%の減少、分譲住宅は、356戸で同23.2%の増加となった。



## ■各圏域の新設住宅着工戸数（右軸：前年同月比%）

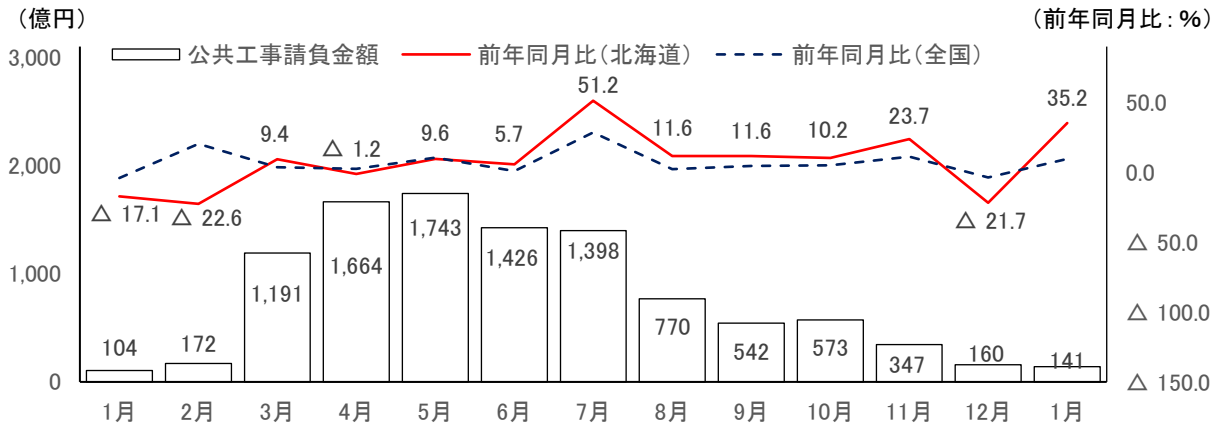


(資料:国土交通省)

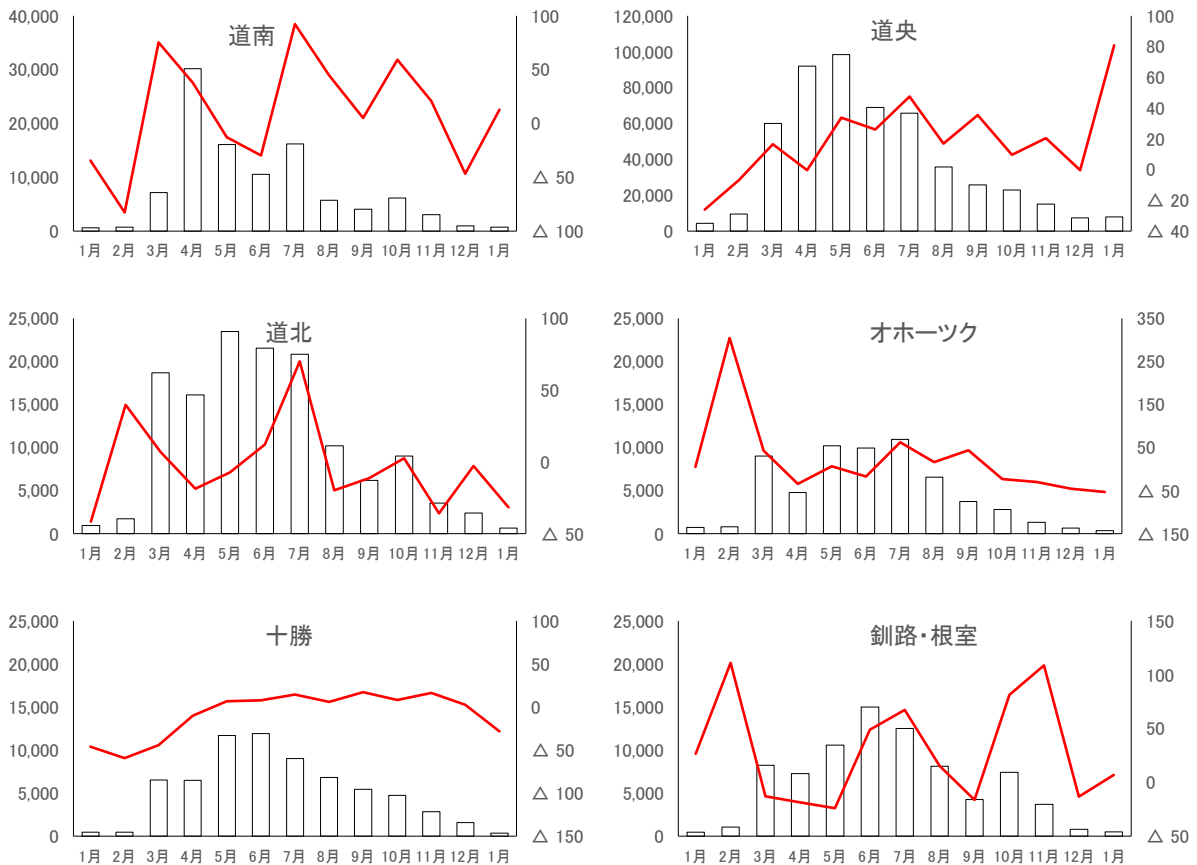
# ■公共工事～増加している

## 公共工事請負金額（1月）

請負金額は、141億円で前年同月比35.2%の増加となり、2か月ぶりに前年を上回った。



## ■各圏域の公共工事請負金額（左軸：百万円、右軸：前年同月比%）



(資料:北海道建設業信用保証(株))



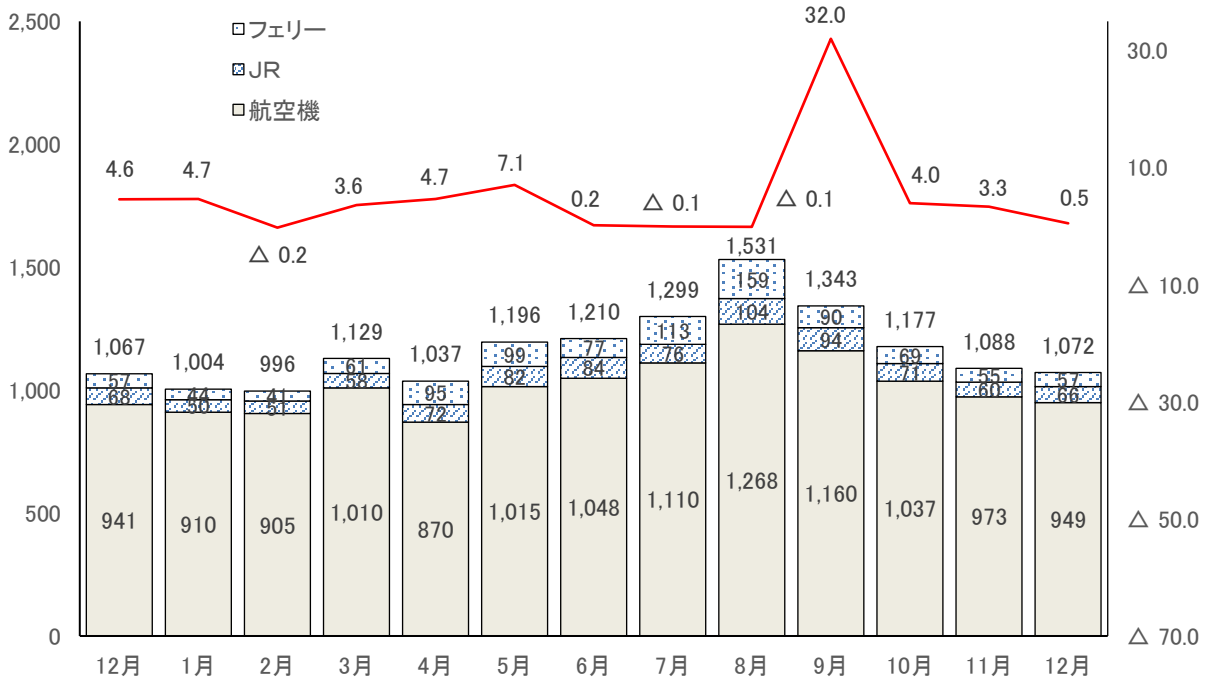
# ■観光～改善の動きに弱さがみられる

## 来道者数（12月）

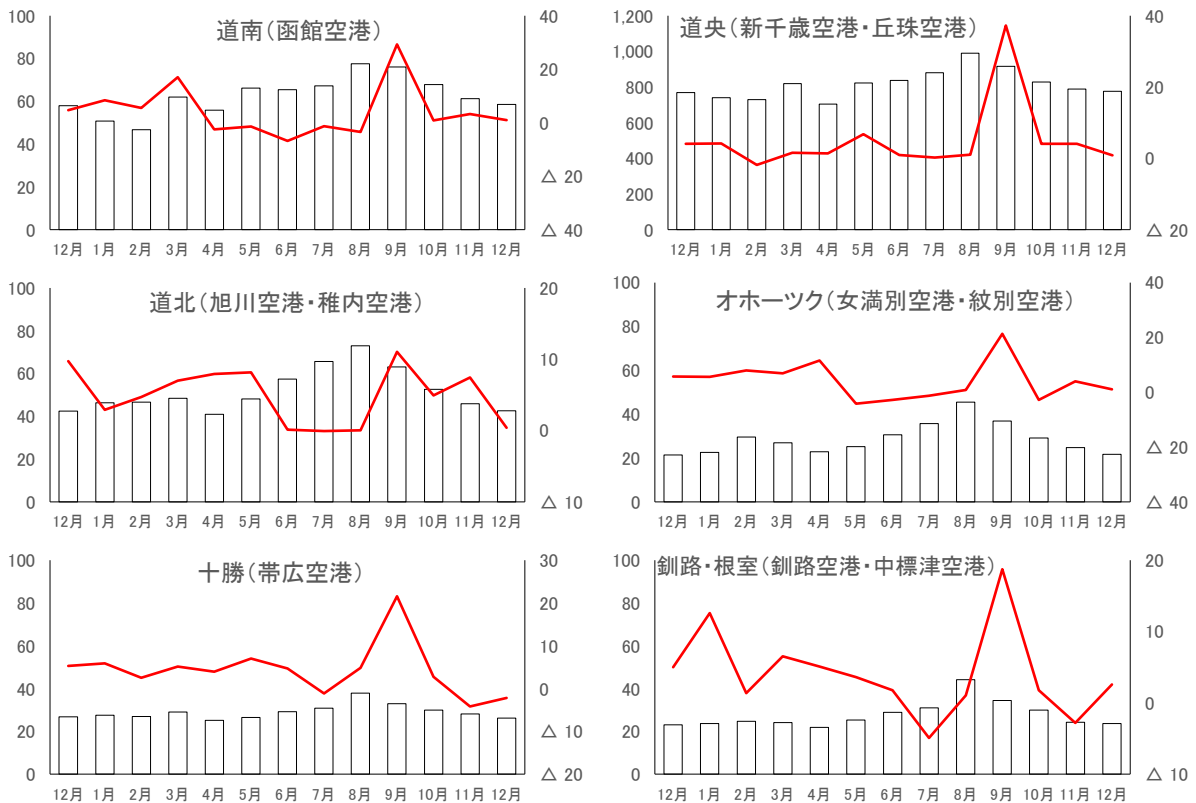
来道者数は、107万2千人で前年同月比0.5%の増加となり、4か月連続で前年を上回った。

(千人)

(前年同月比：%)



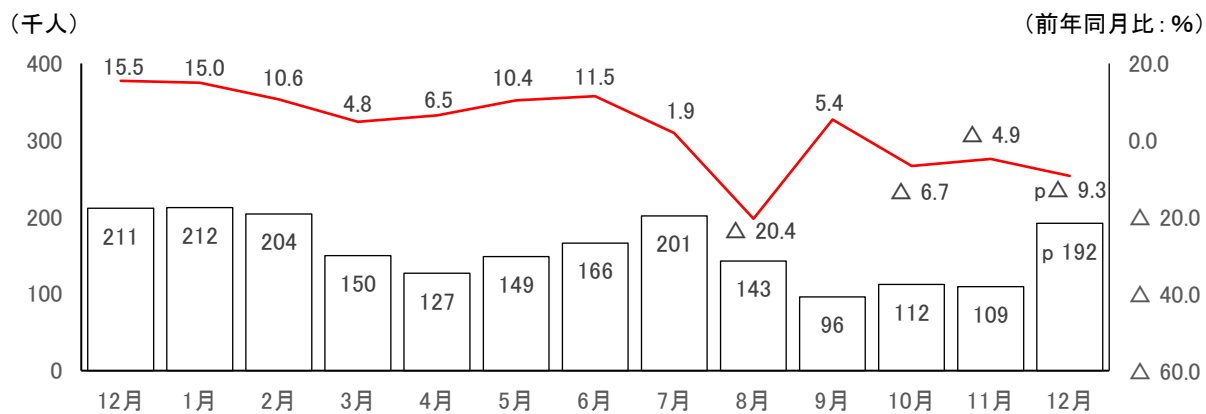
## ■各圏域の航空機利用による来道者数（左軸：千人、右軸：前年同月比%）



(資料：(公社)北海道観光振興機構)

## 来道外国人数（12月）

本道に直接入国した外国人は、19万2千人で前年同月比9.3%の減少となり、3か月連続で前年を下回った。



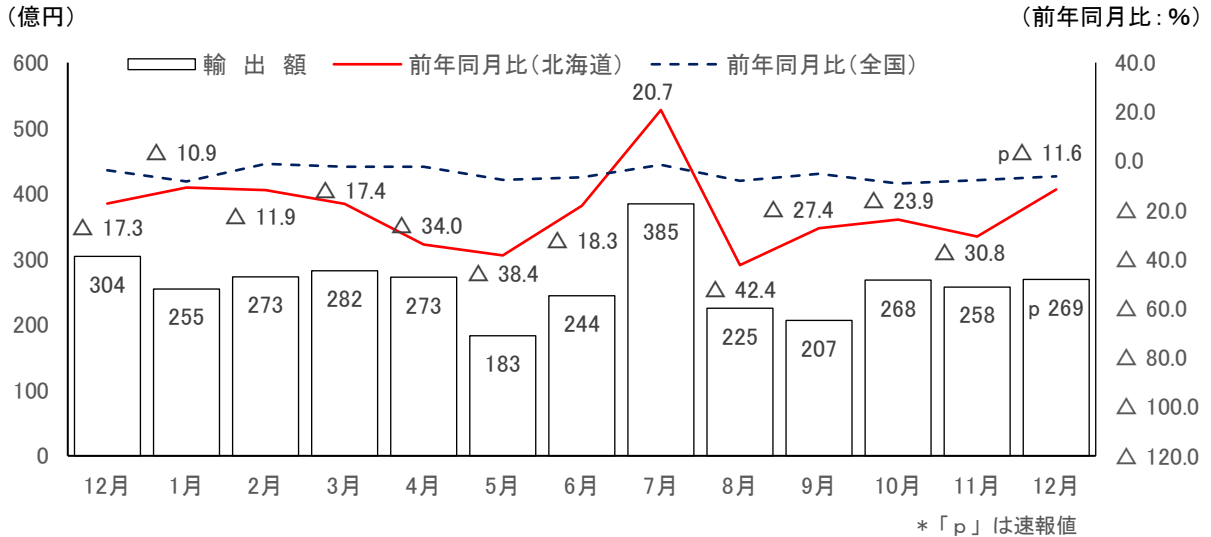
\*「p」は速報値

(資料:法務省入国管理局)

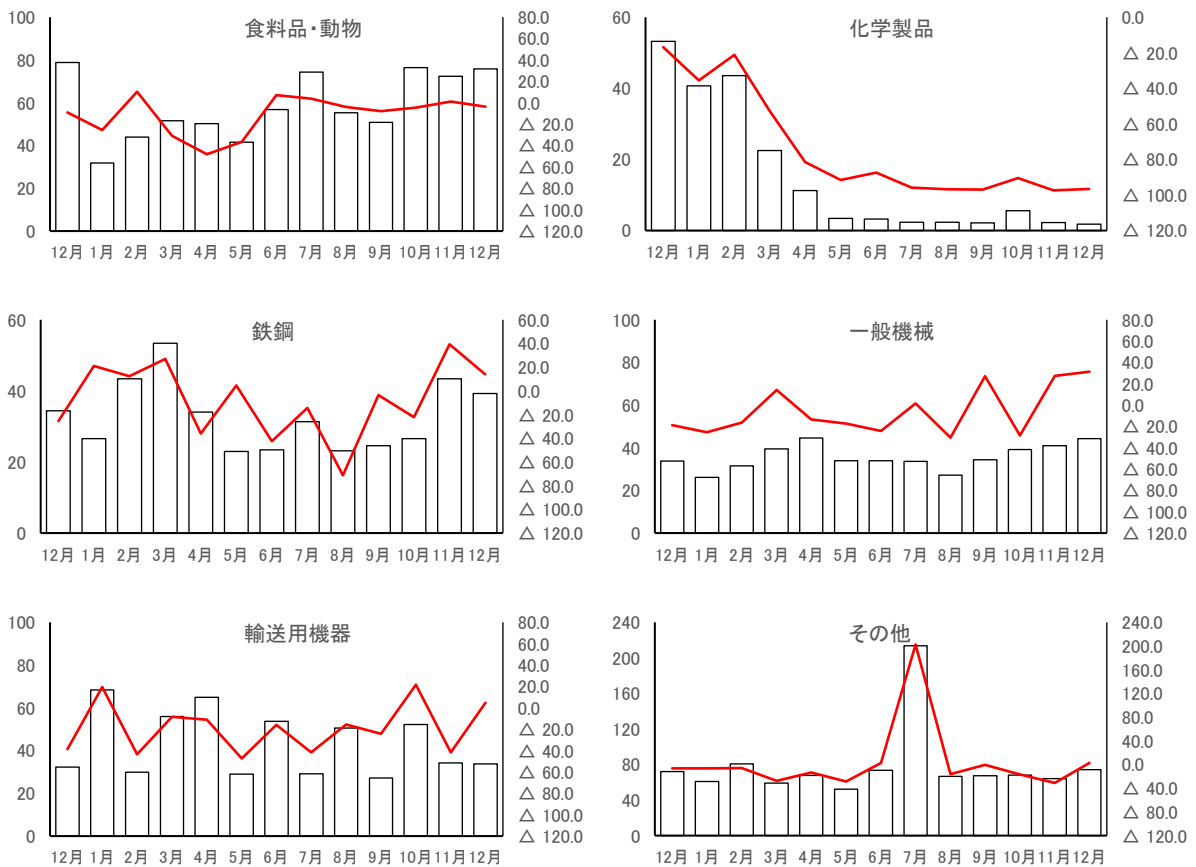
# ■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を下回った

## 輸出額（12月）

輸出額は、269億円で前年同月比11.6%の減少となり、5か月連続で前年を下回った。品目別にみると、化学製品（有機化合物、鉱物性タール・粗製薬品）、鉄鋼くずなどが減少した。



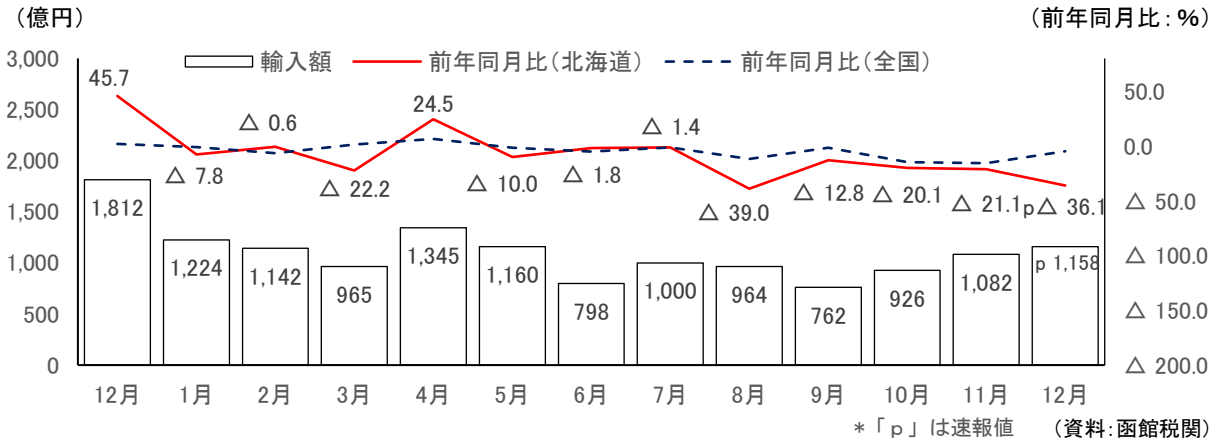
## ■種類別の輸出額（右軸：前年同月比%）



(資料: 函館税関)

## 輸入額（12月）

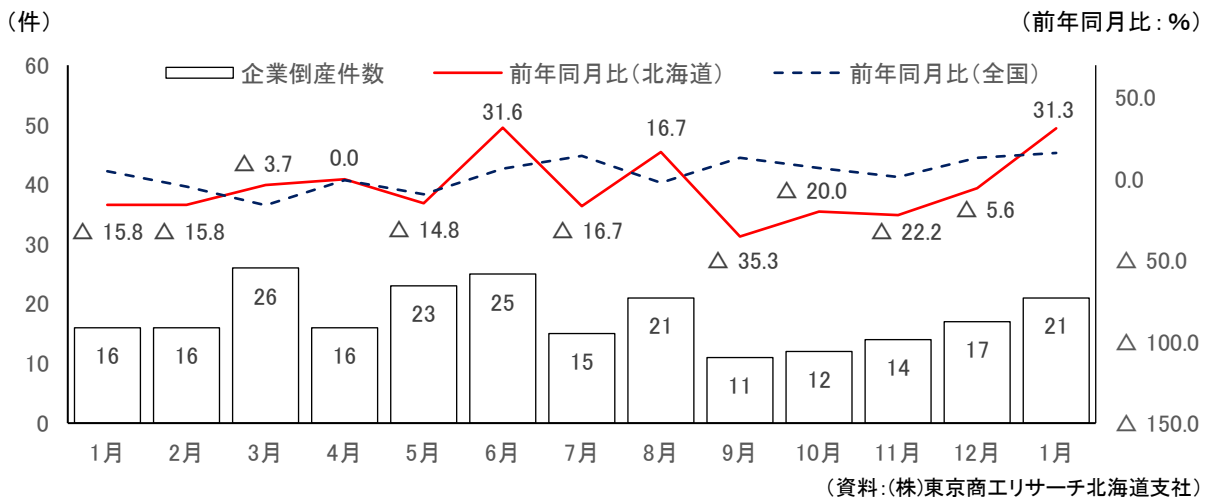
輸入額は、1,158億円で同36.1%の減少となり、8か月連続で前年を下回った。  
品目別にみると、航空機類、石油製品、再輸入品などが減少した。



## ■企業倒産～倒産件数、負債総額とも増加した

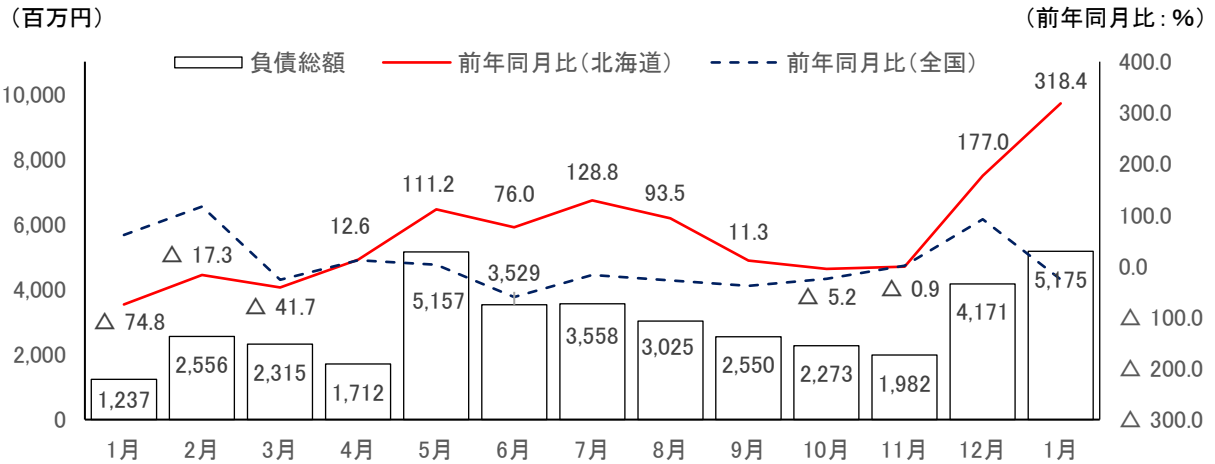
### 倒産件数（1月）

企業倒産件数は21件で前年同月比31.3%の増加となり、5か月ぶりに前年を上回った。  
原因別でみると、販売不振が12件（構成比57.1%）と半数以上を占めた。  
業種別でみると、サービス業が5件（構成比23.8%）、建設業及び小売業が各4件（構成比各19.0%）、製造業が3件（構成比14.3%）となった。

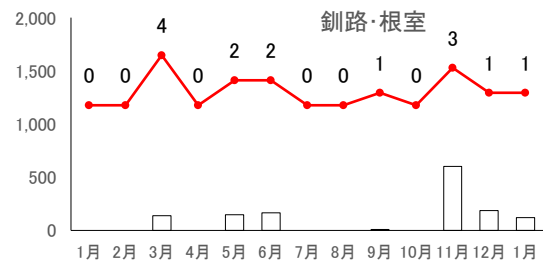
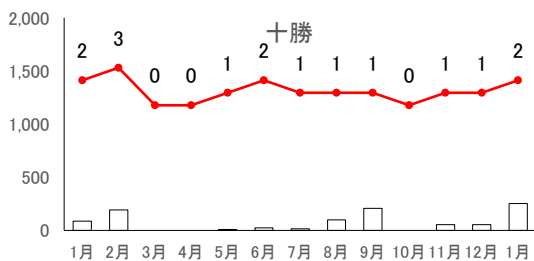
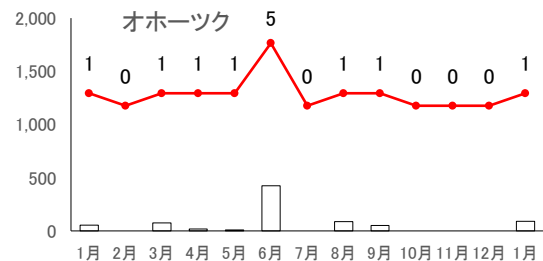
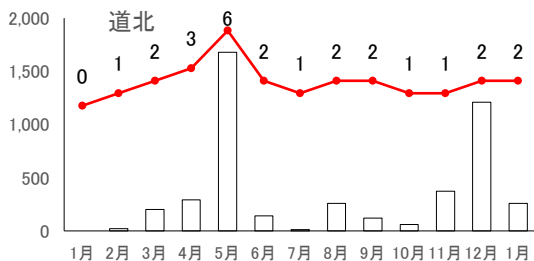
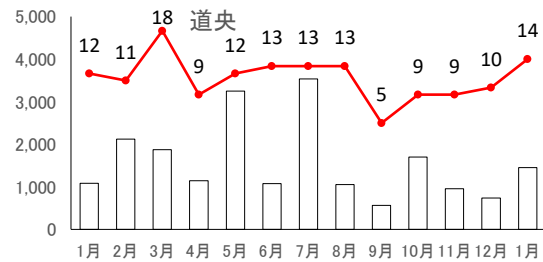
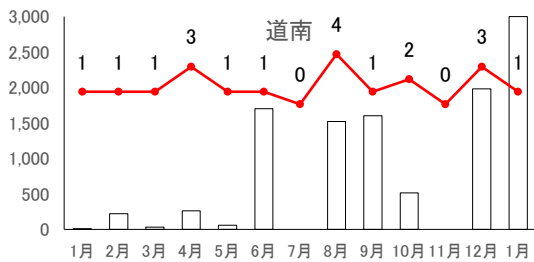


## 負債総額（1月）

負債総額は、51億75百万円で同318.4%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



### ■各圏域の負債総額と倒産件数（折れ線）

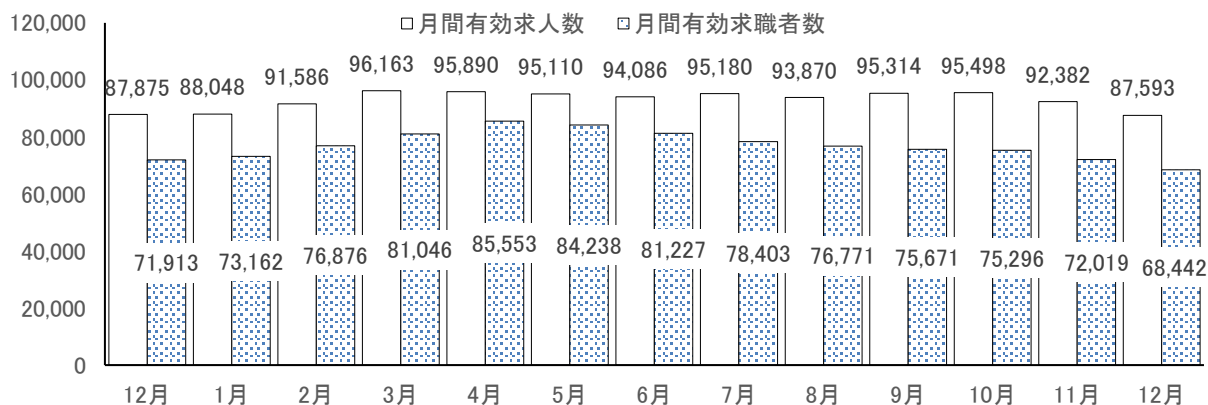


(資料:(株)東京商工リサーチ北海道支社)

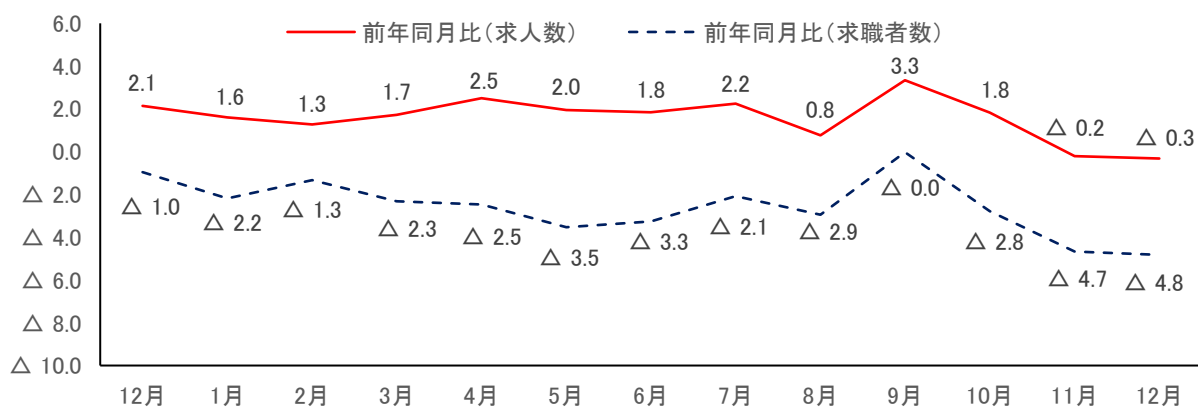
## ■求人・求職～改善が進む中、人手不足感がみられる

### 月間有効求人数・求職者数（12月）

月間有効求人数は、8万7,593人で前年同月比0.3%の減少となり、2か月連続で前年を下回った。月間有効求職者数は、6万8,442人で同4.8%の減少となり、98か月連続で前年を下回った。  
(人)



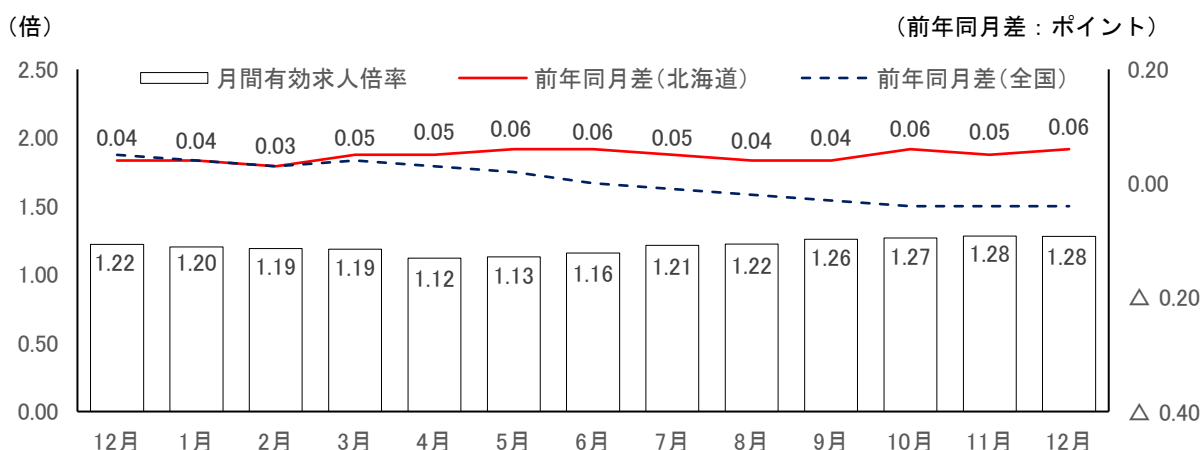
(前年同月比：%)



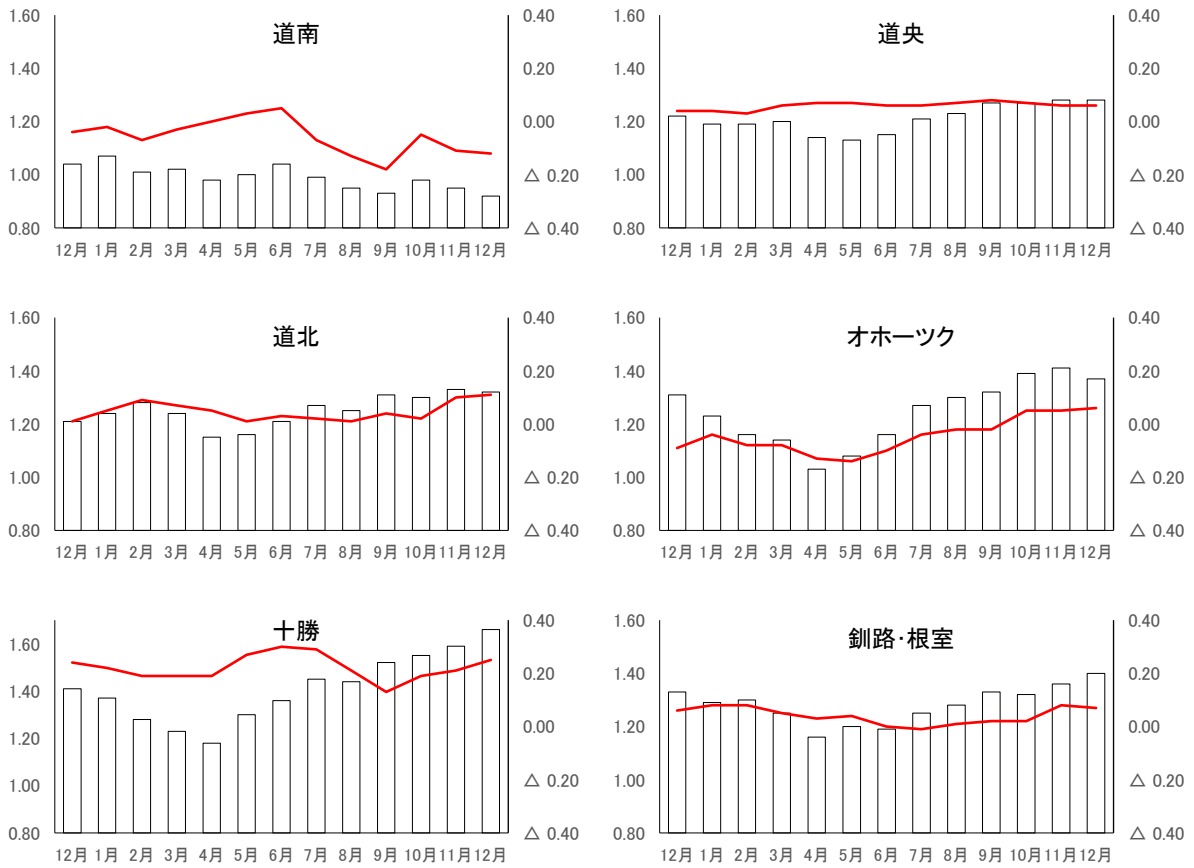
(資料：北海道労働局)

### 月間有効求人倍率（12月）

有効求人倍率は1.28倍で、前年同月差で0.06ポイントの増加となり、119か月連続で前年を上回った。



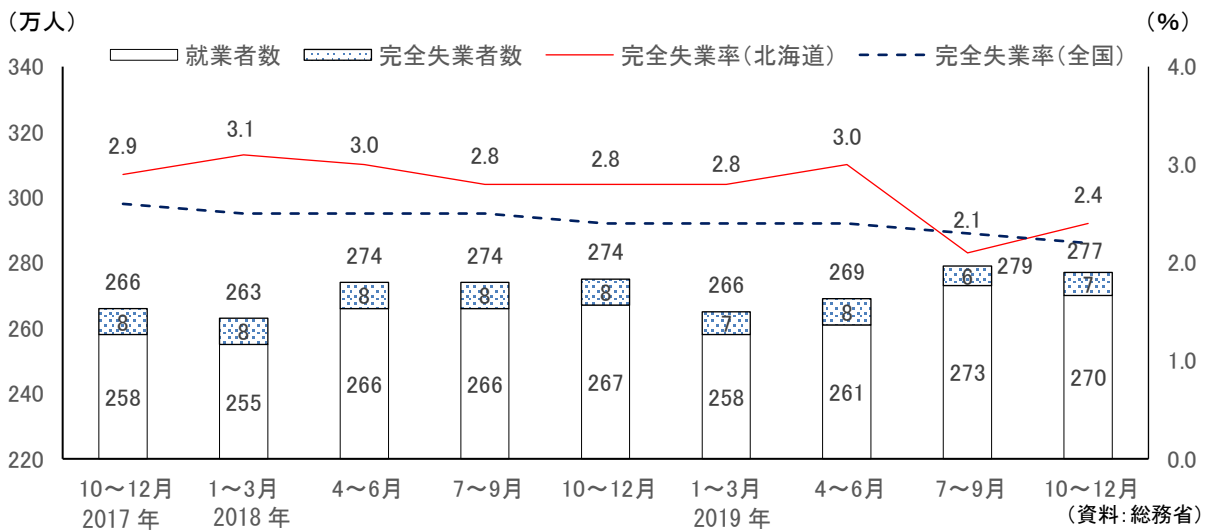
■各圏域の月間有効求人倍率（右軸は前年同月差）



(資料: 北海道労働局)

完全失業者数、完全失業率（令和元年10月～12月）

完全失業者数は、7万人で前年同期と比べ、1万人の減少となっている。  
完全失業率は、2.4%で前年同期と比べ、0.4ポイント低下となっている。

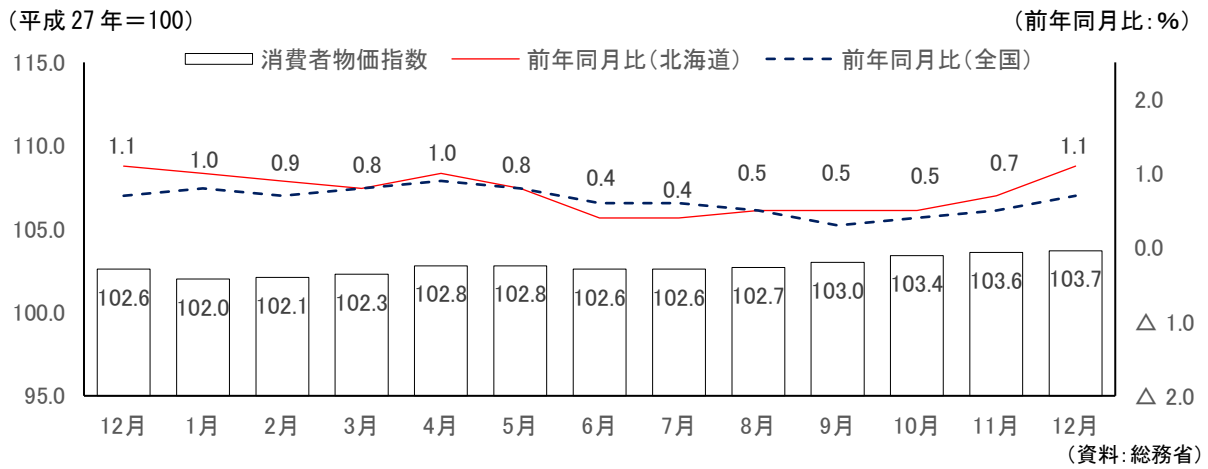


(資料: 総務省)

## ■物価～消費者物価指数は前年を上回った

### 消費者物価指数（12月）

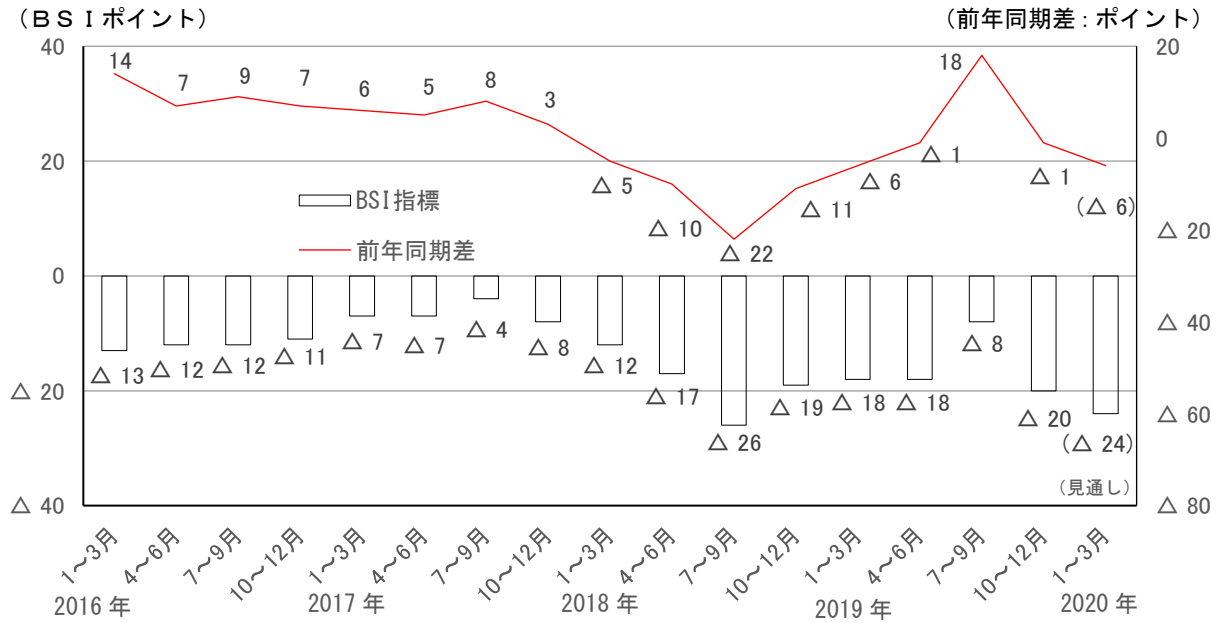
消費者物価指数（生鮮食品を除く）は、103.7で前年同月比1.1%の上昇となり、37か月連続で前年を上回った。



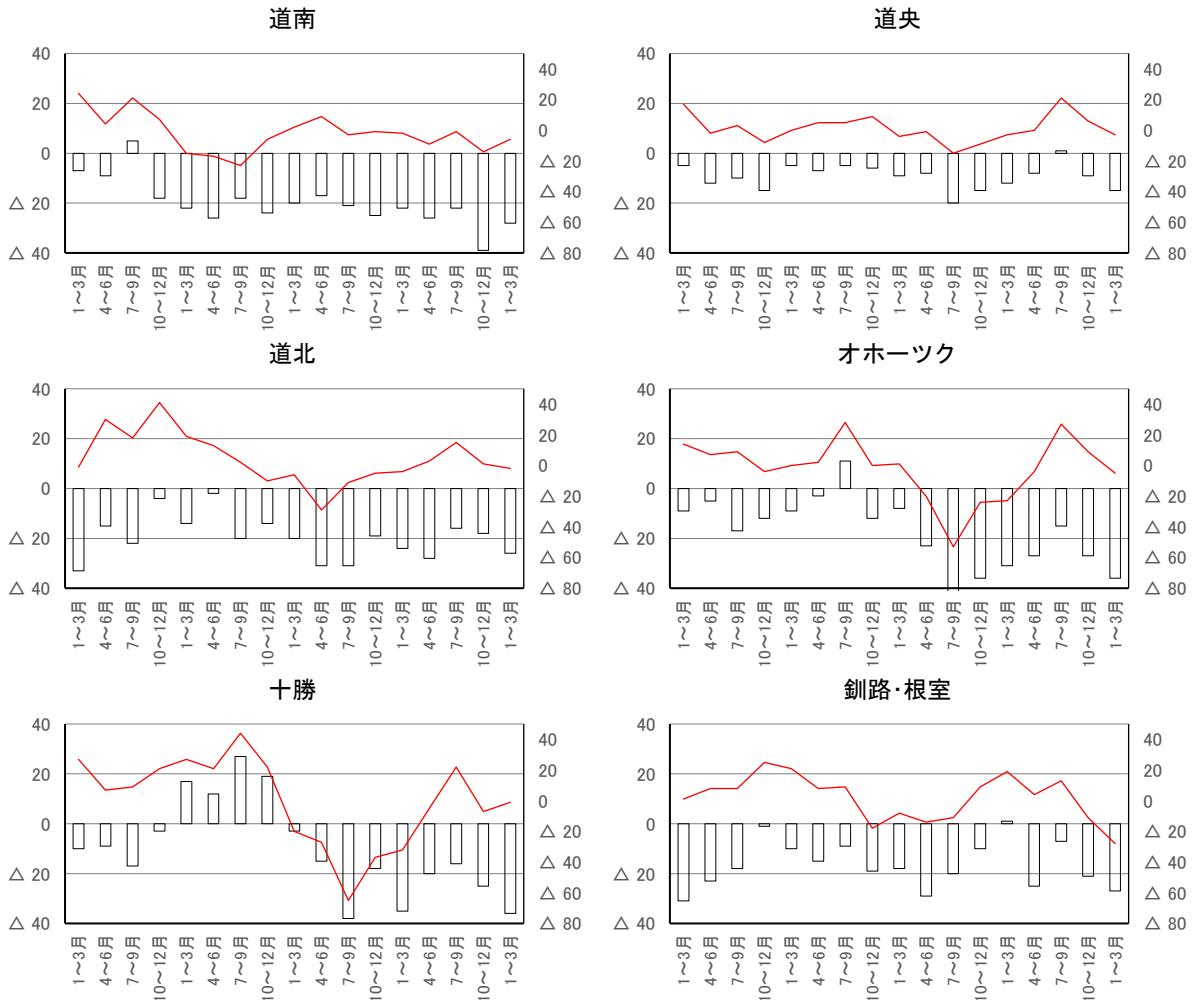


## ■企業経営者意識調査～前期から下降している

令和元年10～12月期の業況感BSIは△20で、前期から12ポイント下降しており、前年同期より1ポイント下降している。来期は△24ポイントで、今期から4ポイント下降の見通しとなっている。



## ■各圏域の業況感BSI (右軸：前年同期差)



(北海道経済部調べ)

## ■企業のみなさまから伺いました

### ◆百貨店A（道央地域）

#### 【初売りは低調】

初売り、セールの上上は不振となったが、インバウンドを視野に入れ、衣類の売り場を縮小し、化粧品や特選ブティックの売り場を拡大していることも影響していると思われる。

#### 【インバウンド、国内客とも来客数が大幅に減少】

新型コロナウイルスの影響で、1月下旬以降は、インバウンドについては客数売上とも大幅に減少し、主に化粧品や特選ブティックの売上に影響が生じている。

また、国内客についても来店数が1割以上減少しており、それに伴い売上も落ちている状況。特に外商のうち、店内でのお買い上げの減少幅が大きくなっている。

### ◆百貨店B（道央地域）

#### 【新型コロナウイルスで客数等が大きく減】

新型コロナウイルスで客数と売上に大きな影響がでている。例年、さっぽろ雪まつり期間中の外国人売上の構成比は通常の倍以上となるが、今年は2月に入ってから外国人客数は前年比で半分以下、売上でも約半分で推移している。品目別では特に化粧品の売上の落ち込みが大きくなっている。客数への影響は国内客にも及び、例年の8割程度に落ちている。

### ◆スーパー（道央地域）

#### 【少雪で客数が増加】

1月は12月と同様に降雪量が少なく、買物に出やすい日が多かったこともあって、客数が増加し、売上高も前年を上回った。消費増税の影響はまだ酒類で残っており、前年割れが続いている。増税後はキャッシュレス・ポイント還元事業の対象とならない企業も販促を強化し、競争が厳しくなっていると感じている。

#### 【マスクが欠品】

新型コロナウイルスの影響で、マスクの売上高が前年の約3倍となったが、メーカー側の供給が追いつかないため、1月下旬から店頭で欠品することが多くなった。

### ◆コンビニエンスストア（道央地域）

#### 【天候に恵まれ、客足は安定】

1月は概ね穏やかな天候に恵まれ、客足は安定していた。気温が高めに推移し、飲料水やアイスなどが好調だった。また、コロナウイルスの影響でマスクやハンドソープの特需が発生した。観光地は雪不足や外国人観光客の減少の影響により、部分的には不振の地域も発生している。

## ◆ドラッグストア（道央地域）

### 【暖冬で売れ行きは鈍く】

11月までは風邪の流行などにより売上は増加したが、12月以降は暖冬の影響で季節関連商品の売れ行きが鈍かった。消費税率引き上げ後の反動減は、化粧品などの一部商品で続いており、影響は12月まで及んでいたと見られる。

### 【直近はマスク需要で客数増加】

新型コロナウイルスの影響によるマスク等の一時的な需要増で、直近では客数が増加し、売上も増加する結果となっている。マスクの品薄状態は続いており、今後マスク以外の商品についても、調達について対策が必要となるかもしれないと注視している。

## 最近の経済動向

令和2年2月号

---

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

---

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>